



えんだより

令和7年度
7月号
常念寺保育園



日差しが強くなり、本格的な夏の訪れを感じます。水分補給や休息をこまめに行いながら、夏ならではの遊びを楽しんでいきたいと思います。

園庭ではどろんこ遊びや水遊びが盛んに行われ、年長児から0歳児までそれぞれの遊びを楽しんでいます。そんな中、”子どもは大人を見て育つ”とはよく言いますが、子どもが真似をするのは大人だけではないようです。

まつくみの子どもたちが、砂場に川を作り水の流れを観察。ばらくみの子どもたちは、遊具を使ってウォータースライダーのようにすべり台に水を流しています。そして、その楽しそうな表情をみていたうめくみさん。すべり台に大きな子どもたちがいなくなると、すかさずすべり台に登り水の流れを確認しようとしています。子どもの目線の先にあるのは、大人の時もあれば年上の友達の時もあり様々なのだと感じました。色々な人達に影響されて子どもは環境の中で自ら学び、一步步大人に近づいていくのですね。お家の方洗濯大変かと思いますが、ご協力ありがとうございました。

《私保連子育てメッセージ》

「花も虫も 友だちも 一緒に遊んでくれるのは みんな友だち」

子ども時代にしか感じるできないものがあります。

それは人間が本来持っていた、自然に対する畏怖や畏敬の念と

共通する感情なのかもしれません。

子どもの表現は、子どもにとっては真実の表現。だから、いつも真剣なまなざしです。

真剣な表現は、真剣に受けとめてあげたいですね。



常念寺保育園では日々の保育をはじめ地域の子育て支援や産前産後の家族支援も行ってあります。
ご友人・知人の方が気軽にご利用できる“るんぴに一園”を是非ご紹介下さい。
るんぴに一通信『7月号』はこちら↓
イベントのご案内しております
是非ご覧ください！



今月のおほとけさまの言葉

〇『布施奉仕』（ふせほうし）～だれにでも親切にしよう～

人から優しい言葉をかけられたり、困っているときに優しくしてくれる人はありがたいと思うし、その姿は美しく見えます。これは、その人の他人に対する思いやりの心が伝わり、私たちの心を打つからでしょう。この様に報酬も恩返しも求めない行動を布施といい、奉仕といいます。

他人に親切にすることは、まわりまわって自分に戻ってきます。そうした利手を抜きにしても、どんなときにも隠れた親切が人間の社会を明るくすることを知らせましょう。

無財の七施と行いがあります。だれでもできる事であり、日常生活の中で行えることだと思います。そのうちの4施についてご紹介しましょう。

心施（しんせ）＝他人の存在に対する思いやりの心。

和顔施（わげんせ）＝柔和な笑顔を絶やさないこと。

いつも笑顔でにこにここと相対する社会は、より豊かになります。

言施（ごんせ）＝思いやりのこもったあたたかい言葉をかけることによりあらいはなくなる。ということです。

眼施（げんせ）＝優しいまなざしでそこにいる人の心が和やかになる。

そして安心して豊かな世の中になるでしょう。

今月の 行事予定

2（水）	・朝のお集まり・プール開き
7（月）	☆わくわく七夕のひ ～祖父母とのふれあい会～
22（火） ～8/23（土）	・夏期自由登園
体操教室	11（金） まつくみ・ばらくみ 25（金） まつくみ・ばらくみ・うめくみ
身体測定	3日：まつ 4日：ばら 8日：さくら 9日：うめ 10日：いちご・たんぼぼくみ 14日：もも・すみれくみ

※7/23～25に中央高校の生徒さんがインターンシップに来ます。ご理解の程、よろしくお願い致します。



★お知らせ★

★第40回幼児音楽フェスティバル日程が決まりました！

・12/5（金）、会場：鶴岡市中央公民館、演奏開始時間 15 時頃予定、詳しくは秋にご案内致します。

・来年度のフェスティバルについて、R6.12月号の園だよりでご説明いたしましたが、現在の保育方針及び内容とのギャップがあり参加しないことになりました。様々なご意見があるかと思いますが園として『子どもたちにとってどうか？』を考えたとき、例えば生活発表や作品展示会などの違う形の親子お楽しみ会的なものを、日常の暮らし（保育）の中で子どもたち（4.5歳児クラス）と一緒に考え、1.2月ごろに就学・進級に向けて開催できたら良いなとイメージしております。

★成道会の日程変更：12/18（木）



●今月の職員研修●

★『保育が変わると計画が変わる・・・子どもの姿ベースの指導計画 ～子どもの姿を語り合う～（保育ナビ7月号）』：副園長より

★【毎月】：やまこや作業療法士・公益大公認心理士・ごつと助産院長（助産師・保健師）来園 ⇒ 子どもの困りごと、保育援助、産前産後支援・子育て支援等

★沙見裕幸監修：映像で見る乳児の保育 遊びと生活（0.1.2歳）：グループワーク

★保育ナビ7月号：井桁容子先生『保育者のセンス・オブ・ワンダー（0.1.2歳児）“子どもの心を豊かに育むために”～「いいかげん」は「いいかげん」～』：グループワーク

★計画通りにいかないジグザグ保育がつくる子ども主体の学び（学研）（3.4.5歳児）：グループワーク

★保育ナビ7月号：遊びが10倍豊かになる砂場づくり（砂場の環境構成に役立つ用品・用具）：書面研修

★保育通信6月号：“遊びながら育む食育”（「楽しさ」が食への興味・関心を高める）：書面研修 ※上越教育大学大学院 教授 野口孝則先生来園に向けて

★園児たちの素敵エピソード（キラキラ、いいこと思いついた！）：各職員会議にて全職員より：語り合い